



## 水子貝塚公園

水子貝塚は、縄文時代前期(約5500~6500年前)を代表する貝塚として、1969年、国の史跡に指定されました。その後、遺跡の保存と活用のため整備が行われ、1994年、『縄文ふれあい広場 水子貝塚公園』として開園しました。

水子貝塚資料館キャラクター  
縄文神ムサビー

園内には5棟の竪穴住居が復元されています。うち1棟には、当時の居住生活の様子が、縄文人の家族とともに、再現されています。

公園に隣接している資料館・展示館内では、出土した考古資料の展示や、発掘調査時の住居跡を複製・再現して、貝塚や当時の人々の暮らしがわかるように紹介しています。また、市民学芸員による展示・竪穴住居の解説のほか、企画展示やさまざまな体験学習・各種講座を開催しています。※参加方法など詳しくは施設(電話番号049-251-9686)までお問合せください。  
〔展示館・資料館〕  
休 日: 月曜日(祝日を除く)  
祝日の翌日(土曜・日曜、祝日の場合は閉館) 年末・年始  
開館時間: 午前9時~午後5時 入館料: 無料

## イベント

**水子貝塚星空シアター**  
(9月上旬)

水子貝塚公園で開催。公園内の屋外シアターで映画を楽しみながら、晩夏の夕べを過ごす企画として親しまれています。また、上映以外にもステージ披露や様々な縄文体験、模擬店の出店など盛りだくさんのイベントです。

**東みずほ台まつり**(8月)

みずほ台中央公園を会場に、子ども山車や盆踊り、スイカ割りなど家族みんなで楽しめるお祭りです。公園内には模擬店も多数出店します。

**みずほ台祭り**(8月)

みずほ台駅西口を会場に、地域団体による模擬店の出店の他、子どもみこし、太鼓、市内中学校の吹奏楽演奏、ダンス演技などが行われます。

**柳瀬川いかだラリー**(7月または8月)

柳瀬川(志木大橋~富士見橋手前)を、趣向を凝らした手作りのいかだと、ユニークな衣装&パフォーマンスを競って下るイベントです。

**富士見市新春縄文マラソン大会**  
(1月または2月)

水子貝塚公園周辺をコースに、老若男女多くの方が参加。縄文5種競技(やり投げ・丸太引き・宝さがし・火おこし・弓矢)も行われます。

西みずほ台  
商店会キャラクター  
フジ

## 水谷でのこだわり

**伝統を継承する富士見のお囃子**

市内には水子上組囃子、水子城之下組囃子、水子石井囃子、中水子囃子、勝瀬囃子があり、水子が名に入る4団体が水谷地域で活動しています。幕末から明治にかけて伝わったといわれ、神社の祭りに奉納されてきました。1989年には市指定無形文化財に指定され、技術の継承に努めており、「みずほ台祭り」や「富士見ふるさと祭り」など、市内のイベントにも出演しています。受け継がれてきた地域の伝統と温かさに触れてみませんか。

**多彩なグルメが揃う飲食店街**

みずほ台駅周辺をはじめ、水谷地域は魅力的な飲食店がいっぱい。楽しく飲める居酒屋はもちろん、和洋中、エスニックやラーメンなど、おいしいお店がバリエーション豊富にそろっています。地域のお祭りや、様々なお店を食べ歩き・飲み歩きする「まちハル☆ふじみ」などのイベントもあり、多彩なグルメを楽しむことができます。ぜひ水谷地域を散策しながら、あなたのお気に入りのお店を見つけてみてください。

**富士見市アクセスガイド**

**鉄道のアクセス**

東武東上線と東急東横線、横浜高速みなどみらい線の相互直通運転(東京メトロ副都心線経由)がされており、池袋から約30分、横浜から約70分、大宮から約30分でのアクセスが可能です。

富士見市マスコットキャラクター  
6Pわっぴー

富士見市をもっと楽しめる  
観光アプリ「ココシル☆ふじみ」もご利用ください。  
web版はこちら  
<http://home.fujimi.kokosil.net/ja/>

発行: 富士見市地域活性化研究会(ふじみ☆ラボ) この情報は令和2年3月時点の情報です。

## 文化財・見どころ

**みずほ台駅東口モニュメント「曙光」** ①②⑬

1977年、みずほ台駅開業同年に造立。3本の柱で3村合併の歴史と、市民生活・都市施設・社会文化の充実や振興を表現しています。

**並木地蔵** ②⑪⑬

1723年造立。水子三地藏の一つで、悪疫退散や旅の安全を守り、部落内の守護仏として建てられました。

**キラリ☆ふじみ** ⑬

2002年に開館した市民文化会館。市の文化芸術の発信をはじめ、子どもからお年寄りまで楽しめる事業を多数開催しています。

**油坂** ⑬

由来は坂上付近にあった金子家が油屋を商っていたことから。旧金子家の母屋は市指定文化財として難波田城公園に移設されています。

**南通遺跡の復元住居** ④

針ヶ谷地区には、縄文早期から人々が住んだ南通遺跡があり、弥生時代の復元住居が針ヶ谷小内にあります。※校外から見学してください。

**堂山坂** ⑤

かつて坂下まで柳瀬川が流れていた際、大蛇の胸が流れつき、胴塚を築いたため「胴塚」と呼んだが、後に「堂山」となったといわれます。

**勝軍地蔵** ⑥

1806年建立。甲冑姿で馬に乗り、武士に戦勝をもたらすとして、また民間でも火伏せの神のほか農業神として信仰されました。

**石井緑地公園** ⑦

どんぐり山とも呼ばれる自然公園。台地中央の道は、中世に鎌倉へ参集するために整備された「鎌倉道」の名残です。

**大應寺** ⑥②

創建不詳。建立に弘法大師が関わった伝説も。山門(鐘樓門)は水子八景で、墓地には講れのある「犬の墓」「巨大な墓」などがあります。

**水宮神社** ⑥③

室町時代に摩阿山般若院として創建。明治の神仏分離令で水宮神社となり、1993年に水宮神社と改めた。珍しい狛犬が造立されています。

**般若院の坂** ⑦④

由来は水宮神社がかつて元修験寺の般若院と呼ばれていたことから。般若院の東にあるため「東の坂」ともいわれました。

**神井戸** ⑬

かつては水量豊富な湧水で、井戸近くの江嶋神社には、地域の人々により1718年造立の弁財天が祀られています。水子八景の一つです。

**水川前水川神社(北側水川神社)** ⑬

水子上組の水川神社。毎年7月の祭りに囃子の奉納があります。境内には富士塚や力石、浅間大神・猿田彦大神の石碑などがあります。

**子待(ねまち)塔** ⑬

大黒天を本尊とし豊作等を願い、大黒の使いの鼠に因んで精進供養する子待、そのための石造物として日本最古(1681年造立)とされます。

**虚空蔵菩薩像** ⑬

1678年造立。水田の守護として信仰され、元々池のほとりに祀られていましたが、耕地整理により針ヶ谷集合墓地内に移されました。

**おのひめ様(弁財天)** ⑦

1847年造立。弁財天は向って左側の三地藏の一つ、耳だれを治すためお願いしたそうです。

**別所水神** ⑩⑬

近辺に修験者が諸民の救済を祈願し、涙を行ったと伝えられる池の跡があり、赤い鳥居と2基の文字塔(水神・湯殿山)が残されています。

**お井戸** ⑬

多くの人に共同利用された湧水。そばに鎌倉道を通り、旅人の憩いの場だったことが偲ばれます。池の祠には弁財天が祀られています。

**性蓮寺** ⑨

開山は日蓮の高弟の日性で、1492~1501年といわれます。墓地に難波田氏に代わり難波田城主となった上田周防守の五輪塔があります。

**水子八幡神社** ⑩

創建不詳。祭神は菅田別命こと応神天皇。清康潔白に生まれ変わるよう祈願した「白山三所大権現」の石塔(1756年造立)があります。

**鶴(うずら)河岸跡の水神碑** ⑩⑦

1781年に開設。鶴馬・大井・三富の野菜等を扱った。河岸場近くに船乗りを守り神、大杉神社を祀った水神が2基残されています。

**太郎兵衛の墓** ①⑤

江戸時代、病の父のために禁猟の鶴を殺してしまい、磔の刑にされた太郎兵衛の供養のため、1792年に造立されたといわれています。

**本(もと)河岸跡** ⑬

1781年頃に開設。河川改修で河岸場の趣は変わりましたが、この河岸を通じ、年貢米が江戸に積み出されたといわれています。

**みずほ台駅西口モニュメント「和」** ①

1977年造立。人々の親和、協和、融和による街造りを「和＝輪」として、三本の波線が市内を流れる三つの川の治水を表しています。

**栗谷津公園** ②

1986年開園。豊かな湧水があり、かつては貴重な水源でした。俱利伽羅不動明王の石塔(1848年造立)が水神として祀られています。

**針ヶ谷水川神社** ⑬

創立年代は不詳ですが、元禄年間に針ヶ谷村が川越領となり、館村水川神社(現志木市)を分祀設立したと記録にあります。

**天保の道しるべ** ②

1884年、山下河岸の船問屋が建立。当時には珍しい信仰に関係のない市内唯一の貴重な道標として、市指定文化財となっています。

**真光寺** ④

1861年以後無住となり、荒廃しましたが、1994年に再建。水子の三地藏の一つ、耳だれを治すこととされる地蔵があります。

**石井坂** ⑤

急坂のため「大坂」とも。坂途中に稲荷社があり、鎌倉道と交差する場所でした。地域の方が道案内になるよう設置した道標があります。

**山王坂** ①

由来は、かつて山王神社があったことから。古くは江戸道とも呼ばれ、鎌倉道と交差する角に「山王坂地蔵」が建っています。

**正綱水川神社** ⑬

旧水子村の鎮守で、祭神は須佐之男命。境内には、多くの合祀された神社のほか、弁財天、力石、耕地整理竣工碑などがあります。

**山王坂地蔵** ⑤

1710年に建てられた丸彫り型地蔵で、並木地蔵、石井真光寺地蔵と合わせて水子の三大地蔵と呼ばれています。